

18. 官民の努力により結実した関東甲信越地域などにおけるワイン製造業の歩みを語る近代化産業遺産群

我が国のワイン製造は明治時代に入ってから始まった。明治政府は、米不足の緩和のための日本酒消費量の削減と輸出産業創出を目的として、欧米からぶどう苗木を輸入し、全国各地でワイン製造を奨励した。また、政府による官営事業として、1876年に現在の北海道札幌市に開拓使葡萄酒醸造所が、1880年に現在の兵庫県稲美町に国営ワイナリー・播州葡萄園が開設された。開拓使葡萄酒醸造所は山梨県立葡萄酒醸造所に勤務した**桂二郎**（桂小五郎の弟で、後の日本麦酒醸造会社第3代社長）に1886年に払い下げられ、大正期まで操業を続けた。播州葡萄園はワインなどを試醸したが、その後害虫や悪天候による壊滅的な打撃を受け、1886年に**前田正名**に経営を委嘱し、1888年同人に払い下げられるも、1890年代に廃園となった。

一方、鎌倉時代からブドウの栽培が行われ、江戸時代には既に食用ブドウの産地であった山梨県の勝沼周辺では、明治初期に**山田宥教**と**詫間憲久**の両名によるワイン製造の試みが開始され、続いて1877年には山梨県による県立葡萄酒醸造所が完成した。さらに同年、官民の協力により現在の勝沼に大日本山梨葡萄酒会社を創立し、**高野正誠**と**土屋助二郎**（のちの**龍憲**）の二人をフランスに留学させ、本場のワイン製造技術を導入した。大日本山梨葡萄酒会社は1886年には解散するものの、**宮崎光太郎**と土屋らは甲斐産商店を設立して醸造を続け、その後大黒葡萄酒(株)、オーシャン(株)（現：メルシャン(株)）へと発展した。土屋は1891年に甲斐産商店を退き、マルキ葡萄酒（現：まるき葡萄酒(株)）を設立した。高野は大日本山梨葡萄酒会社解散後、栽培や醸造技術の普及につとめ、1890年に『葡萄三説』を著している。

山梨県内の官営のワイン製造は明治中期に途絶えてしまうが、フランスで農業経済の知識を身につけ、地方在来産業の振興と輸出産業への育成を志し、一時山梨県令を務めた前田による振興策や普及活動もあり、民間ではその後もワイン製造への取組が拡大した。登美高原では、1909年に**小山新助**が近代ワイナリーの先駆けである登美農場を開設した。その後、ワインの品種改良に尽力してきた**川上善兵衛**と寿屋（現：サントリー）の創業者・**鳥井信治郎**の協力により1936年に寿屋山梨農場として再出発し、現在の登美の丘ワイナリーへと発展してきた。

また、ワイン製造業の発展にあわせて、1896年から1903年にかけて中央本線八王子～甲府間の建設と1913年の勝沼駅開業により物流面が大幅に改善するとともに、その煉瓦による鉄道トンネル技術によりワイン貯蔵庫の建設技術が向上し、龍憲セラーなどの煉瓦造ワイン貯蔵庫が建設された。また、1915年に日川水制・1917年に勝沼堰堤が竣工して水害による中央本線や甲州街道の寸断が無くなり、東京など遠隔地との物流が安定した。また、1920年に山梨田中銀行が設立されて地域の経済活動を支えるとともに、1930年には祝橋が竣工して各醸造所と勝沼駅との自動車輸送が強化された。

このように山梨県においては、明治中期以降も政府による技術者派遣などの支援を受けながら近代的なワイン製造に向けた取組みが継続・推進され、勝沼の町を中心に我が国を代表するワイン産地としての礎が築かれた。

明治中期以降のワイン製造に取組む民間の動きは山梨県外でもみられ、その代表的なものとしては、1903年に茨城県牛久の地に、浅草「神谷バー」の名でも知られる**神谷傳兵衛**により開設され、フランス種の葡萄とフランス・ポルドー地方の高級ワイン製造法を採り入れ、葡萄栽培から瓶詰出荷までを一貫生産する我が国初の本格的ワイン醸造所となった牛久醸造場（現：シャトーカミヤ）がある。

主な構成遺産の写真



【国指定史跡 播州葡萄園跡】
(兵庫県加古郡稲美町)



【宮崎第二醸造所建物(現：メルシャンワイン資料館)】
(山梨県甲州市)



【勝沼堰堤】
(山梨県甲州市)



【JR中央本線旧大日影トンネル】
(山梨県甲州市)



【龍憲セラー】
(山梨県甲州市)



【旧田中銀行社屋】
(山梨県甲州市)



【祝橋】
(山梨県甲州市)



【牛久醸造場関連遺産(現：シャトーカミヤ)】
(茨城県牛久市)

構成遺産リスト

地域		遺産			
都道府県	市区町村	名称	内訳		
			(不動産)	(動産)	
茨城県	牛久市	牛久市のワイン醸造関連遺産	牛久醸造場関連遺産（現：シャトーカミヤ）	-	
山梨県	甲州市	甲州市のワイン醸造関連遺産	宮崎第二醸造所 建物（現：メルシャンワイン資料館）	-	
			メルシャンワイン資料館の所蔵物	醸造器具 所属古文書・古書	
			旧宮崎光太郎氏住宅兼事務所	-	
			宮崎第一醸造所東蔵	-	
			同 煉瓦積み煙突	-	
			同 石積煉瓦敷ワインセラー跡	-	
			旧貯蔵庫（白蔵）	-	
			同 所蔵物	古文書、古写真類、葡萄酒、葡萄果汁、醸造器具	
			龍憲セラー	-	
			ぶどうの国文化館収蔵物	「勝沼の葡萄栽培用具及び葡萄酒醸造用具」500点	
			甲州市のワイン醸造を支えた インフラ施設・建築物	JR 中央本線旧深沢トンネル（現：勝沼トンネルワインカーヴ）	-
				JR 中央本線旧大日影トンネル	-
				祝橋	-
				旧田中銀行 社屋	-
				同 煉瓦倉庫	-
				同 繭倉	-
				勝沼堰堤	-
				日川水制群	-
			笛吹市	加古郡 稲美町	稲美町のワイン醸造関連遺産
	兵庫県	同 出土品	ガラス瓶等出土品		